



寒中お見舞い申し上げます。

の「優しさ」です。

最近、科学の進歩には目を見張るものがあります。

朝鮮人作家の高史明は、「やさしさ」を漢字で書く

「素粒子ニュートリノの速度は光より速い」、「ビッグス粒子の発見」とか。医学界では、病気の原因を遺伝子まで遡り、この遺伝子のスイッチがONにならないように管理すると、がんやアレルギーをも抑えられることが分かってきた、とか。昨年3・11以降、再生への

静かだけれど決して尽きるこのない熱い想いが、再生への原動力になるのではないのでしょうか。今年もよろしく願います。

険しい道を、多くの問題を抱えたまま歩まなくてはならない私たちにとって、これらは、血肉になるのです。ようか。本当に必要なビタミンは何でしょうか？強力的なカンフル剤とは？

芦田内科の答え

それは、祈りにも似たひと

内科・胃腸科・漢方・循環器科・放射線科・往診・訪問介護

# 芦田内科

地域医療を支えて37年  
心をこめてこれからもずっと

院長 蘆田延之

	月	火	水	木	金	土	日祝
午前9~12時	○	○	○	○	○	○	△
午後 2~4時	往診	△	往診	△	往診	△	△
午後 6~8時	○	△	○	△	○	△	△

078-981-3071 FAX078-981-3081  
神戸市北区有野町有野1240-2



今回のテーマは「美味しく食べること」。早速興味を持って戴けて嬉しいです！2月に行われた研究会からお勉強。体にストレスが加わると、AⅡという悪玉やその受け皿（ATⅠ）の数も増え、老化を促進。これに対し、主に胃で作られ、食事が美味しく感じるタンパク（グレリン）は脳に働き、成長ホルモン（GH）を分泌させます（GHの抗加齢効果は以前に紹介済み）。グレリンは、

心臓や腎臓、血管でも作られ、細胞の中のミトコンドリアを安定させ、その数を増やし、抗老化作用を担うことが分かってきました。マウスの実験で、グレリンはAⅡ由来の老化反応を抑え、腎臓などの臓器に良い

作用をする。ことが証明されました。また、胃炎や胃潰瘍に漢方薬を用いることで、食欲が増すことと血中グレリン濃度が上がることがほぼ同義だとも証明されています。現代社会はストレス満開。グレリンは誰の体にもあるタンパク。美味しくご飯を戴けることこそがアンチエイジング。でも、漢方薬による処方のご相談は、いつでもお受け致します！

内科・胃腸科・漢方・循環器科・放射線科・往診・訪問介護

**芦田内科** 院長 蘆田延之

地域医療を支えて37年  
心をこめてこれからもずっと

	月	火	水	木	金	土	日祝
午前9~12時	○	○	○	○	○	○	△
午後 2~4時	往診	△	往診	△	往診	△	△
午後 6~8時	○	△	○	△	○	△	△

☎078-981-3071 FAX078-981-3081  
神戸市北区有野町有野1240-2